

2/28 (Wed.) 13:00~

ミニシンポジウム

# 東アジアのそとの地方史誌

昭和女子大学  
オーロラホール  
+ZOOM

## 「地方史誌研究」要旨

「地方史誌」（歴史を中心に行政・地理などを項目別に記した総合的書物）は、近世東アジアの各地域で共通して成立した。このアジア地域の史料研究を敷衍して、世界史上の「地域の歴史の書物を編纂し必要とするようになる背景」を比較的に検討する議論と環境の形成、言い換えれば「地方史誌学」の確立を図る。そのために、「地方史誌」の学界における議論基盤を構築し、継続的に議論が行われる状況をつくることで、最終目標である「地方の歴史はなぜ編まれるのか」を（地域を問わない）学界全体で共有し考える端緒としたい。

## タイムテーブル

13:00~開会・ご挨拶(志摩園子：昭和女子大学国際文化研究所)

13:05~基調報告(小二田章：企画主催者・モデレーター)

13:35~「13-14世紀イルハン朝期イラン地方史少考：モンゴルの支配は地方からどう見えたか」(渡部良子：東京大学文学部)

コメント：赤坂恒明(元・内モンゴル大学モンゴル歴史学系)

14:15~「中世北欧の歴史記述／地方史におけるユダヤ＝キリスト教的歴史観と地元の過去」(成川岳大：立教大学文学部)

コメント：唐澤晃一(香川大学教育学部)

14:55~(休憩・質問用紙回収)

15:10~総括コメント(森山央朗：同志社大学神学部)

15:40~質疑応答・討論

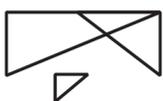
17:00~(閉会予定)



歴史文化学科キャラクター  
歴まるくん



参加希望の方は上のフォームから事前にご連絡下さい。



Showa Women's  
University  
Institute of  
International Culture

共催：昭和女子大学  
人間文化学部歴史文化学科・国際文化研究所

問い合わせ先：小二田章  
a-konita@swu.ac.jp

※本会は、JFE21世紀財団アジア歴史研究助成、科学研究費助成事業（基盤研究（C）「地方史誌研究の基盤形成」）の支援を受けています。